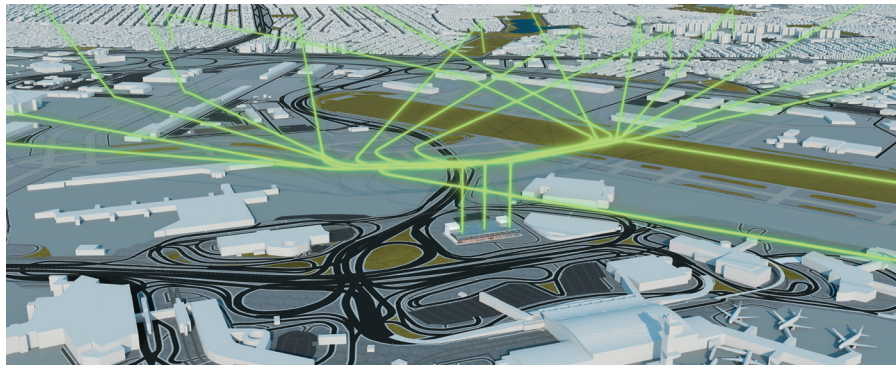


IHIパーキングスクエアの空飛ぶクルマ離着陸場

まちのスペースを効果的に活用し、空と地上と繋ぐモビリティハブを実現します

IHIパーキングスクエアが提案する3種類の離着陸場

空飛ぶクルマの社会実装に向けて、離着陸場を提供します。設置場所、運用台数や離着陸頻度に合わせ、3種類の形態を提案します。IHIグループで開発・製品化している様々な技術を活用し、離着陸場内における充電・機体保管・機体搬送・メンテナンスといったサービスを提供します。



パーティストップ



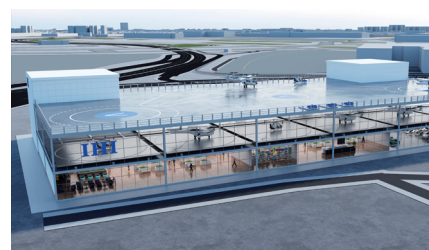
空飛ぶクルマの交通網における最も小規模な離着陸場として、数台の機体を運用します。空飛ぶクルマの離着陸帯と、機体の充電や点検を行う格納庫を備えます。

パーティポート



商業施設や観光地といった多くの人が集まるスポットに位置し、地区拠点として10台程度の機体による定期運航を行います。都市間移動、遊覧や短距離移動などに対応した大小様々な機体を同時に運用することを考慮し、離着陸フロアと乗降フロアを階層分けすることで、安全な運航に貢献します。

パーティハブ



空港・港湾・地上交通ターミナルなど、他の大型モビリティ施設に隣接し、地方拠点として高頻度の離着陸を実現します。ハブ内ではパレットを用いて機体を搬送するため、高頻度な離着陸・高密度な機体保管が可能となります。

エアモビリティと地上交通をつなぐ

自走式駐車場の屋上階は直射日光や雨天、地上からの距離から、ドライバーから敬遠される傾向にあります。一方で、周辺路面より高い位置に広い平面が設けられており、エアモビリティとの相性が良いことがわかっています。IHIパーキングスクエアでは、地上交通とエアモビリティの結節点となるハブ施設の提供に向け、空飛ぶクルマの離着陸場と併せて、物流用ドローンポートの開発も進めています。

